



令和元年5月21日発行 中等新報第8号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

3年櫛形山・大峰山登山 ～ 山が教えてくれたこと ～



仲間とのふれ合いが勇気と力を与えてくれます。一人じゃないから、達成感も倍増！

5月10日（金）、3学年で櫛形山、大峰山への登山を実施しました。2日前の8日（水）には、「飯豊・胎内の会」の会長 **亀山東剛** 様に学校へお越しいただき、櫛形山脈の自然の魅力、日本で一番小さな山脈の歴史、登山の心構え等について教えていただきました。当日は、学年団の他に、「飯豊・胎内の会」の皆様5人、保護者6人の同行もあり、生徒たちは安心して地元の自然を満喫できました。お世話になった皆様に心から感謝申し上げます。

以下は、生徒の感想の抜粋です。この日の経験が中等での大切な思い出の一つとして彼らの心に定着することを願っています。

〔加藤日和さん〕・学んだことの二つ目は、自然のすごさです。春の新緑や色とりどりの花、鳥の声、山の中にある多くの生命が私に登山をする元気をくれました。上りが多く、気が遠くなるような山道に力強く咲き、生きる生き物に自然の雄大さを改めて感じました。

〔中野万留さん〕・友達と共に山に登ることで学んだことがあります。それは、普段の学校生活でのコミュニケーション不足です。班の人たちと話していると、私は友達のことについて何も知らなかったんだということが気がつき、驚きました。三年間共に生活してきたにも拘わらず、お互いに相手のことを未だによく知らなかったのです。上りではなかなか話す余裕がなかったのですが、下りでは話が弾み、友達のことをよく知ることができました。班の人だけでなく、さらにたくさんの人について知るためには、また、私のことを知ってもらうためには、日頃から積極的にコミュニケーションをとる必要があると感じました。

〔岡田望愛さん〕・登山は自分との闘いでした。友達と励まし合い登っていたというよりは、自分と一対一で対話しているようでした。「もうやめてしまおうか」、「ここで逃げたら、一生逃げる人生だぞ」、「いやだ、無理だ」、「まだ頑張れるはずだろ」、そんな殴り合いにも似た葛藤を何度も繰り返しました。（中略）頂上に着いたとき、私は普段の生活ではあまり感じられない大きな達成感を感じました。自分との闘いに勝ち、無駄なことを考えず、無心で進むことが一番効率的だと学びました。また、それは日々の生活にも言えることだと思いました。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773

HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>